校長室から

ひがしなら通心

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．４０

平成３０年１２月６日（木）発行

「三つの大掃除」を･･･

毎年、この時期になると大掃除をします。みなさんは大掃除が好きですか？なぜ、この時期に大掃除をするのか知っていますか？　中国は新年になってから、アメリカやヨーロッパでは春になってから大掃除をします。日本と同じように年末にするのはモンゴルという国です。日本で年末に大掃除をするのは、１年分の汚れを取り去り、新しい年に歳神様を迎える準備をして、新年を新しい心持ちで始められるようにしたいからだそうです。日本で大掃除をし始めたのは平安時代、今から千年以上昔です。年末に神社で１年のすすを払って、神様をお迎えする準備をしている様子をテレビで見たことがある人もいるでしょう。新年が穏やかに迎えられるよう、作物がたくさん取れるよう、そんな願いも込められているのです。

さて、みなさんはどんな気持ちで大掃除をしていますか？　寒くて嫌だなあとか、見たいテレビがあるのに･･･などと、やりたくないと思っている人もいるのでないですか。みなさんも、何か願いを込めてできるといいですね。みなさんに願いを込めて大掃除をしてほしいところが三つあります。

一つ目は、「自分の周りの大掃除」です。　机やロッカーにいらないものはありませんか。ゴミやムダな物は捨て、ほこりを払い、ぞうきんがけをしましょう。片付くとすっきりし、すがすがしい気持ちになれます。

二つ目は、「自分が過ごす場所の大掃除」です。　学校なら教室、家なら自分の部屋や居間など、家族の一員としてできることをしてみてください。みんなで力を合わせてきれいになると喜びも増えますよ。

三つ目は、「心の大掃除」です。　大掃除するのは見えるところだけではありません。今年はどんなことを頑張れたか、嫌な自分はいなかったかと１年を振り返ってみましょう。頑張れた自分は自分でほめてあげ、嫌な自分はゴミ箱に捨ててしまうのです。してもらうのが当たり前の自分も捨てましょう。してもらったときには感謝の気持ちを忘れないことが大切です。「一つ捨てると一つきれいになる」そんな気持ちで自分から進んで掃除をすると、自分の周りがきれいになっていくのと同じように、心の中もすっきりします。是非、心の中も大掃除をして新しい気持ちで新年を迎えてください。

ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子

思いやりの入場行進

１２月１０日（月）は「世界人権デー」です。「人間は生まれながらに自由で平等である」という世界人権宣言が採択され日で、人権について世界中で考えようという記念日になりました。みなさんも、友だちと仲良くするためにどうすればいいのか話し合ったり、いじめのない楽しい学級や学校にするためにはどうすればいいのかなど、人権について考える大事な日です。

今年の２月、冬季平昌（ピョンチャン）オリンピックの後、３月にパラリンピックも行われました。パラリンピックとは、もう一つのオリンピックという意味で、障がいのある選手が参加する大会です。その開会式のことが新聞で紹介されました。「開会式で、競技場に入っている各選手団の隊列の先頭には、いつも車いすの選手たちがいた」と書いていました。

みなさんはどうしてだと思いますか。それは、車いすの選手の人は前が見えなくなるからです。パラリンピックだけでなく、障がいのある人たちのスポーツ大会で行われる入場行進の伝統だそうです。また、速く歩けない人に合わせてゆっくり歩いたり、目の不自由な選手の手を他の人が引いたりしていました。

パラリンピックは、メダルを目指して競う大会ですが、相手のことを考え、自分たちができることを行う思いやりを大事にしています。私たちの生活でも友だちに対して思いやりの心で言葉をかけたり、行動したりすることが大事です。人権という言葉は難しいですが、一人ひとりが大切にされることです。『自分にしてほしいことを他の人にして、自分にとって嫌なことはしない』ようにして、みんなで楽しい学校を作っていきましょう。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール２　相手の目を見て話そう

だれかが話しているときは、その人の目を見よう。だれかが意見を発表しているときは、その人のほうに顔を向けよう。

●相手の目をしっかり見て話すのは、相手に敬意をあらわすためだ。そうすれば、話の内容が何であろうと、相手もきみの話を真剣に聞いてくれるだろう。